



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月7日

上場会社名 株式会社 ヤマダコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 6392 URL <https://www.yamadacorp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 昌太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 池原 賢二 TEL 03-3777-5101
 四半期報告書提出予定日 2023年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	10,032	15.6	1,316	1.4	1,528	16.7	1,085	18.2
2022年3月期第3四半期	8,680	21.3	1,298	75.8	1,309	58.7	918	52.8

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 1,256百万円 (26.4%) 2022年3月期第3四半期 994百万円 (73.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	453.31	—
2022年3月期第3四半期	383.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	17,602	13,284	73.9
2022年3月期	17,038	12,284	70.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 13,008百万円 2022年3月期 11,992百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	41.00	—	60.00	101.00
2023年3月期	—	46.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	60.00	106.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	6.5	1,700	△6.1	1,800	6.1	1,200	2.8	501.24

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名） 、 除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	2,400,000株	2022年3月期	2,400,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	6,009株	2022年3月期	5,936株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	2,394,040株	2022年3月期3Q	2,394,072株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済の動向は、米国における実質GDPは、FRBによる金融引き締めが民間需要を低迷させている中、ロシアによるウクライナ侵攻に伴うエネルギー関連の輸出の大幅な増加が成長率を押し上げました。

欧州における実質GDPは、プラス成長は続いており、対面サービス産業などコロナ禍で落ち込んでいた業種を中心に需要が拡大しましたが、エネルギー価格の高騰などの高インフレが成長の重石となり、伸び率は減速しました。

中国をはじめとする新興国経済は、中国においては、一時、新型コロナウイルスの感染拡大は落ち着いたものの、後半には再拡大し、上海市が事実上のロックダウンに追い込まれたことなどから経済活動に支障をきたし、成長率を大きく押し下げました。

一方、日本経済においては、鉱工業生産は、供給制約の影響などから一進一退の動きとなっていたものの、個人消費は、対面型サービスを中心に回復してきており、また、設備投資も高水準の企業収益を背景に底堅く推移していることから、景気は緩やかに持ち直してきております。

こうした中、当社グループにおいては、オートモティブ部門の売上は対前年同期比でほぼ横ばいでの推移となりましたが、インダストリアル部門では、当社の主力製品でありますダイアフラムポンプの売上が海外を中心に増加し、好調な推移となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は10,032百万円（前年同期比1,352百万円、15.6%増）となりました。売上高を部門別にみますと、オートモティブ部門は2,507百万円（前年同期比14百万円、0.6%増）、インダストリアル部門は6,290百万円（前年同期比1,176百万円、23.0%増）となり、上記部門に属さないサービス部品や修理売上などのその他の部門の売上高は1,234百万円（前年同期比160百万円、15.0%増）となりました。

利益面では、売上総利益は4,143百万円（前年同期比379百万円、10.1%増）となり、営業利益は1,316百万円（前年同期比17百万円、1.4%増）、経常利益は1,528百万円（前年同期比218百万円、16.7%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,085百万円（前年同期比166百万円、18.2%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間における報告セグメントの業績は次のとおりであります。

日本における外部顧客に対する売上高は4,588百万円（前年同期比112百万円、2.5%増）、営業利益は856百万円（前年同期比△117百万円、12.1%減）となりました。米国における外部顧客に対する売上高は3,571百万円（前年同期比894百万円、33.4%増）、営業利益は453百万円（前年同期比177百万円、64.3%増）となりました。オランダにおける外部顧客に対する売上高は896百万円（前年同期比66百万円、8.0%増）、営業利益は20百万円（前年同期比△38百万円、65.7%減）となりました。中国における外部顧客に対する売上高は733百万円（前年同期比230百万円、45.9%増）、営業利益は75百万円（前年同期比26百万円、55.2%増）となりました。タイにおける外部顧客に対する売上高は242百万円（前年同期比48百万円、25.2%増）、営業利益は51百万円（前年同期比28百万円、122.9%増）となりました。

また、当第3四半期連結累計期間の連結売上高に占める海外売上高は5,704百万円（前年同期比1,137百万円、24.9%増）で、その割合は56.9%（前年同期52.6%、4.3ポイント増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は17,602百万円となり、前連結会計年度末に比べ563百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金の増加(599百万円)等によるものであります。

負債合計は4,317百万円となり、前連結会計年度末に比べ436百万円の減少となりました。これは主に未払法人税等の減少(△253百万円)、1年内返済予定を含めた長期借入金の減少(△143百万円)等によるものであります。

純資産合計は13,284百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,000百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加(831百万円)、為替換算調整勘定の増加(177百万円)等によるものであります。

この結果、自己資本比率は73.9%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は4,148百万円となり、前連結会計年度末に比べ599百万円の増加となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは1,189百万円の純収入(前年同期は475百万円の純収入)となりました。これは主に棚卸資産の増加373百万円等の支出要因があったものの、税金等調整前四半期純利益1,516百万円等の収入要因があったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは237百万円の純支出(前年同期は1,154百万円の純支出)となりました。これは主に有形固定資産の取得による247百万円等の支出要因があったことによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは390百万円の純支出(前年同期は91百万円の純支出)となりました。これは主に長期借入金の返済による143百万円、配当金の支払による252百万円等の支出要因があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期通期の連結業績予想については、2023年2月3日の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,549,096	4,148,625
受取手形、売掛金及び契約資産	1,740,909	1,542,308
電子記録債権	183,374	254,685
商品及び製品	2,137,406	2,276,652
仕掛品	527,107	705,726
原材料及び貯蔵品	633,231	785,619
その他	580,501	263,117
貸倒引当金	△7,473	△8,069
流動資産合計	9,344,152	9,968,664
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,193,616	5,116,481
土地	1,198,516	1,205,114
建設仮勘定	105,970	108,013
その他(純額)	496,194	514,305
有形固定資産合計	6,994,297	6,943,913
無形固定資産	159,329	155,133
投資その他の資産	540,901	534,798
固定資産合計	7,694,529	7,633,845
資産合計	17,038,682	17,602,510
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,430,726	1,454,701
短期借入金	80,000	102,664
1年内返済予定の長期借入金	227,128	333,376
未払法人税等	320,530	66,858
返金負債	4,551	4,364
製品保証引当金	10,035	10,603
賞与引当金	178,027	48,416
未払費用	237,700	254,835
その他	229,063	214,031
流動負債合計	2,717,763	2,489,852
固定負債		
長期借入金	1,556,378	1,306,346
繰延税金負債	170,076	171,743
退職給付に係る負債	192,586	202,136
役員退職慰労引当金	49,499	50,699
資産除去債務	15,471	15,471
長期未払金	32,270	30,020
その他	20,621	51,477
固定負債合計	2,036,902	1,827,894
負債合計	4,754,665	4,317,746

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	600,000	600,000
資本剰余金	58,187	58,187
利益剰余金	11,020,615	11,852,097
自己株式	△7,205	△7,394
株主資本合計	11,671,597	12,502,890
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	45,273	55,407
繰延ヘッジ損益	—	△3,355
為替換算調整勘定	276,073	453,577
その他の包括利益累計額合計	321,346	505,629
非支配株主持分	291,072	276,243
純資産合計	12,284,016	13,284,763
負債純資産合計	17,038,682	17,602,510

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	8,680,604	10,032,874
売上原価	4,916,128	5,888,979
売上総利益	3,764,475	4,143,894
販売費及び一般管理費	2,465,923	2,827,487
営業利益	1,298,551	1,316,406
営業外収益		
受取利息	780	2,191
受取配当金	7,321	8,147
補助金収入	7,896	34,107
負ののれん償却額	3,668	3,668
為替差益	—	133,511
不動産賃貸料	22,798	22,433
その他	7,548	15,381
営業外収益合計	50,012	219,441
営業外費用		
支払利息	3,332	1,896
減価償却費	2,614	2,575
為替差損	32,401	—
その他	689	2,906
営業外費用合計	39,038	7,379
経常利益	1,309,526	1,528,469
特別利益		
固定資産売却益	198	1,519
投資有価証券売却益	6,045	—
特別利益合計	6,243	1,519
特別損失		
固定資産処分損	5,089	13,569
特別損失合計	5,089	13,569
税金等調整前四半期純利益	1,310,680	1,516,418
法人税、住民税及び事業税	395,280	424,053
法人税等調整額	△15,401	19,924
法人税等合計	379,879	443,978
四半期純利益	930,801	1,072,439
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	12,482	△12,810
親会社株主に帰属する四半期純利益	918,318	1,085,250

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	930,801	1,072,439
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,950	10,134
繰延ヘッジ損益	—	△3,355
為替換算調整勘定	69,486	177,504
その他の包括利益合計	63,536	184,283
四半期包括利益	994,338	1,256,723
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	981,855	1,269,533
非支配株主に係る四半期包括利益	12,482	△12,810

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,310,680	1,516,418
減価償却費	214,289	371,024
負ののれん償却額	△3,668	△3,668
固定資産売却損益 (△は益)	4,890	12,050
投資有価証券売却損益 (△は益)	△6,045	—
受取利息及び受取配当金	△8,101	△10,338
補助金収入	△7,896	△34,107
支払利息	3,332	1,896
売上債権の増減額 (△は増加)	83,694	172,408
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△612,302	△373,095
仕入債務の増減額 (△は減少)	305,645	△21,247
その他	△441,313	191,400
小計	843,205	1,822,741
利息及び配当金の受取額	8,101	10,338
利息の支払額	△3,288	△1,903
補助金の受取額	7,896	34,107
法人税等の支払額	△380,245	△675,895
営業活動によるキャッシュ・フロー	475,668	1,189,388
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,182,003	△247,628
有形固定資産の売却による収入	338	3,424
無形固定資産の取得による支出	△3,596	△15,100
投資有価証券の売却による収入	8,459	—
投資不動産の賃貸による収入	22,798	22,433
その他	△374	△749
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,154,377	△237,619
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	85,000	119,378
短期借入金の返済による支出	△100,000	△96,714
長期借入れによる収入	400,000	—
長期借入金の返済による支出	△228,082	△143,784
配当金の支払額	△228,604	△252,478
非支配株主への配当金の支払額	—	△2,018
その他	△19,723	△15,064
財務活動によるキャッシュ・フロー	△91,410	△390,680
現金及び現金同等物に係る換算差額	15,283	38,441
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△754,836	599,529
現金及び現金同等物の期首残高	4,202,429	3,549,096
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,447,592	4,148,625

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	日本	米国	オランダ	中国	タイ	
売上高						
オートモティブ	2,421,456	—	29,378	14,369	28,189	2,493,393
インダストリアル	1,112,857	2,676,952	800,954	393,643	129,209	5,113,617
その他	942,505	—	—	94,483	36,602	1,073,592
顧客との契約から生じる収益	4,476,820	2,676,952	830,333	502,496	194,001	8,680,604
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	4,476,820	2,676,952	830,333	502,496	194,001	8,680,604
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,424,905	95,891	12,311	2,901	—	2,536,009
計	6,901,725	2,772,844	842,644	505,398	194,001	11,216,614
セグメント利益	974,275	275,720	58,795	48,397	23,315	1,380,505

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,380,505
セグメント間取引消去	66,493
棚卸資産の調整額	△148,447
四半期連結損益計算書の営業利益	1,298,551

II 当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	日本	米国	オランダ	中国	タイ	
売上高						
オートモティブ	2,414,258	—	36,560	10,318	46,861	2,507,998
インダストリアル	1,085,085	3,571,228	860,090	623,400	150,576	6,290,381
その他	1,089,495	—	—	99,624	45,373	1,234,494
顧客との契約から生じる収益	4,588,839	3,571,228	896,650	733,344	242,811	10,032,874
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	4,588,839	3,571,228	896,650	733,344	242,811	10,032,874
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,874,394	74,878	14,439	1,946	—	2,965,658
計	7,463,233	3,646,106	911,089	735,290	242,811	12,998,532
セグメント利益	856,526	453,109	20,192	75,094	51,969	1,456,892

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,456,892
セグメント間取引消去	△53,648
棚卸資産の調整額	△86,837
四半期連結損益計算書の営業利益	1,316,406